

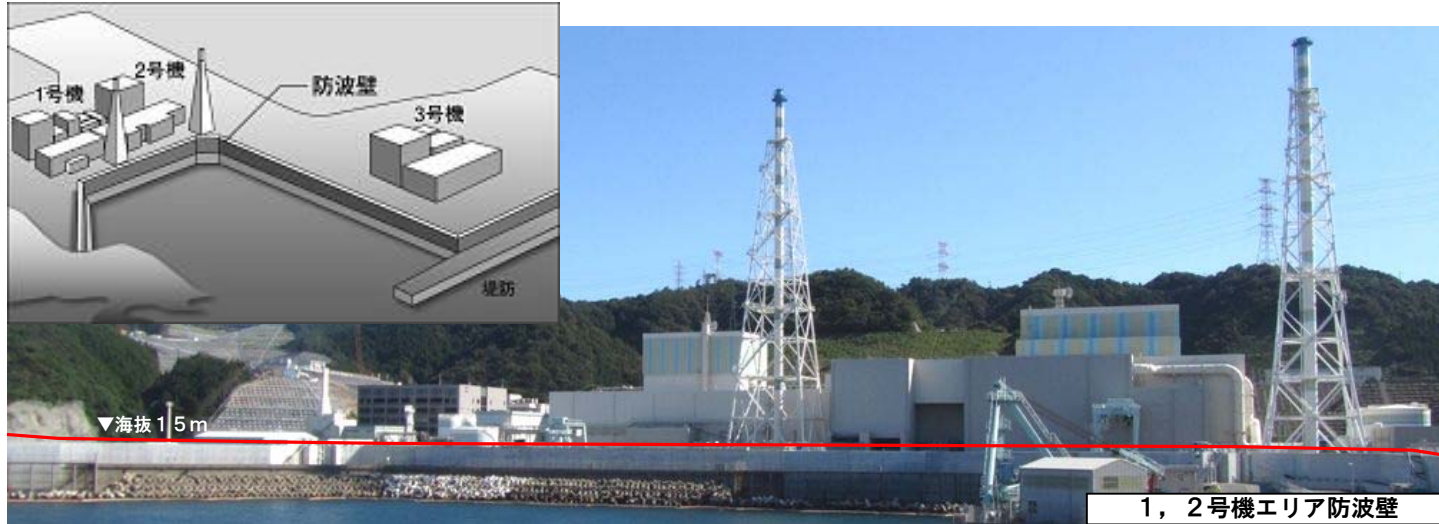
島根原子力発電所 安全対策等の実施状況をお知らせします【平成25年9月】

～更なる安全対策として以下の対策に鋭意取り組んでいます～

防波壁の強化

更なる信頼性向上策として、発電所構内全域について、防波壁を海拔15mに強化します。
[平成25年9月完了]

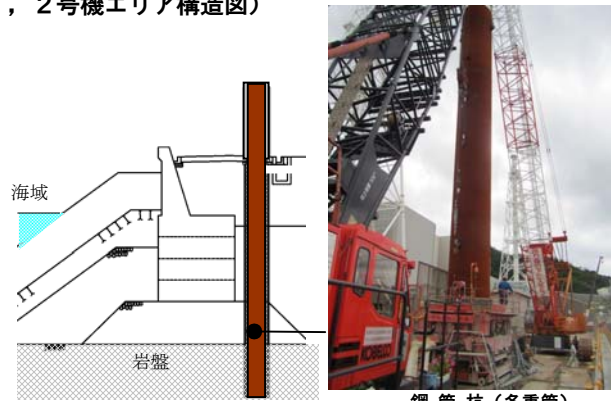
■ 発電所海側全域を囲む、海拔15mの防波壁の本体工事が完了しました。



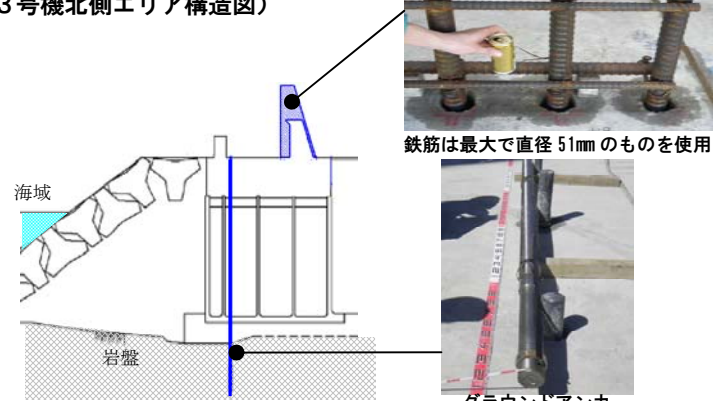
防波壁の構造

防波壁は「地震の揺れ」「津波の衝撃」に十分耐えることが要求されます。そのため、直径51mmの鉄筋や、防波壁本体を岩盤と一体化させるための鋼管杭やグラウンドアンカーの採用などにより、強固な構造としています。

(1, 2号機エリア構造図)



(3号機北側エリア構造図)

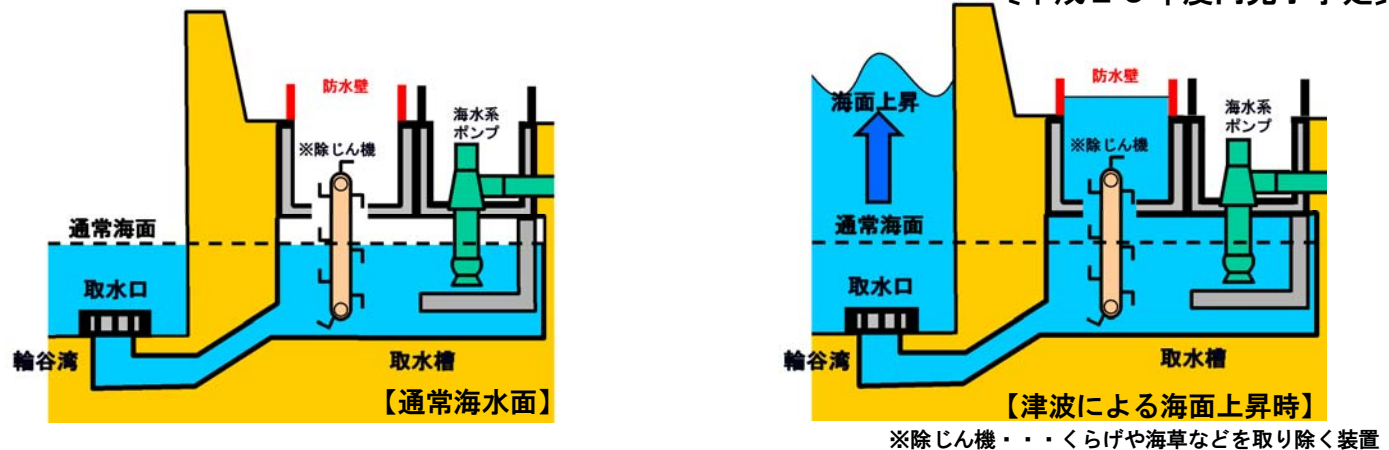


鉄筋は最大で直径51mmのものを使用

取水槽廻りの浸水防止対策

より信頼性を高める対策として、取水槽の水位が上昇した場合でも、海水が取水槽廻りへ溢れ出ることのないよう、取水槽の除じん機エリアを囲む防水壁を設置します。
[平成25年度内完了予定]

[平成25年度内完了予定]

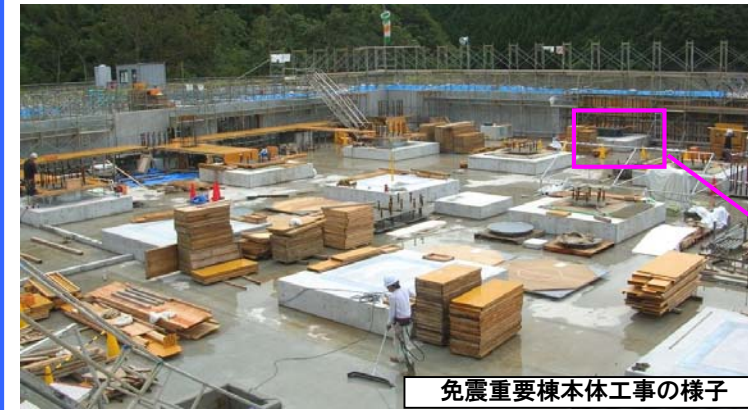


免震重要棟の設置

大規模地震等によって原子力発電所の事故が発生した場合の対応に、より万全を期すため、緊急時対策所機能を収容する免震構造の建物を発電所構内の高台に設置します。

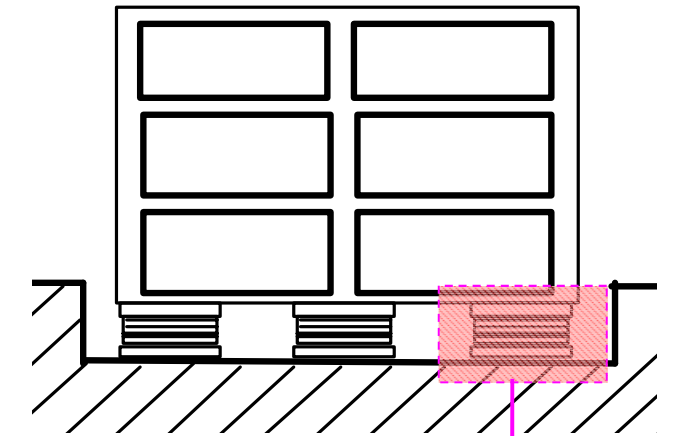
[平成26年度内完了予定]

■ 平成25年4月に建物本体工事に着手しており、平成25年8月から免震装置の据付作業を行っています。



免震構造

地震時の建物の揺れを低減するため基礎と建物の間に積層ゴム等の免震装置を設けて、地震のエネルギーが建物本体に直接伝わり難くした構造。

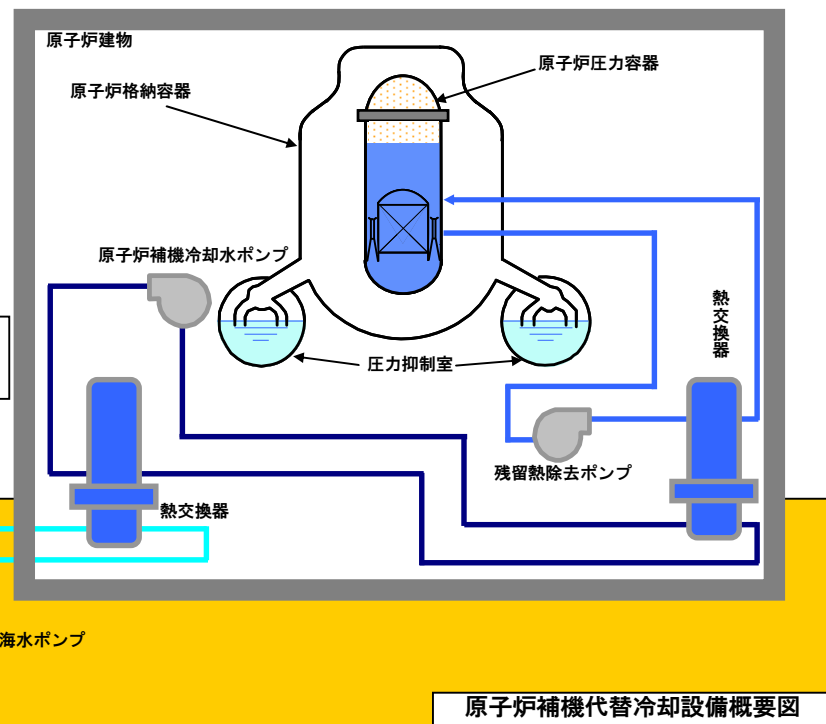
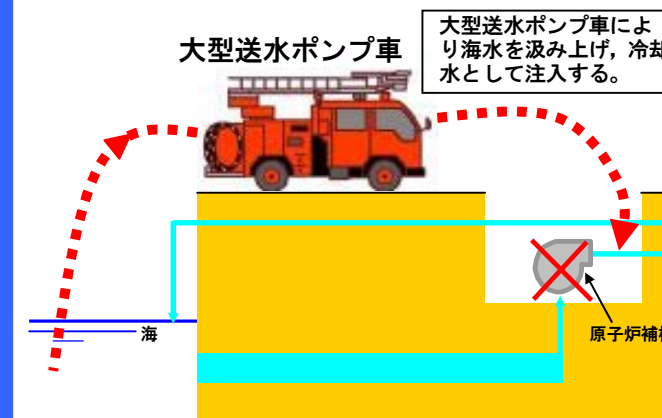


原子炉補機代替冷却手段の多様化

万一、原子炉補機海水ポンプが浸水等により使えなくなった際の冷却手段を更に多様化するため、大型送水ポンプ車*を用いて機動的に代替冷却を行う手順を整備します。

[平成25年度内完了予定]

※大型送水ポンプ車・・・現在対策を進めている「消防ポンプ車の追加配備」にて配備する車両を活用する。



原子炉補機代替冷却設備概要図